

②タイピング練習ソフト

前述したソフトのうち自由な文章で入力できるモードを使いましょう。

③ IPtalk の付属機能

第3章で学ぶパソコン文字通訳のソフト IPtalk には、入力練習や入力技能判定の機能が付いています。それぞれの特徴を把握して活用しましょう。

◆練習リモコン（補W1 タブ）



【特徴】

- 使用する文章は自由に読み込める。
- 自分の入力速度に合わせて自動で練習文を流すことができる。
- 1 分間あたりの入力文字数（漢字変換後）が計測できる。

◆入力技能判定（入力2 タブ）



【特徴】

- 入力する素材（音源など）が必要。
- 入力速度、表示間隔、Undo の数など多くの項目が計測できる。
- 判定結果が点数で示される。
- 実際と同じ「聞きながら入力」で判定。
- 10 分以下では正確に測定できない。
- 内容の正確性は判断できない。

3) 動画撮影

スポーツ選手が動画で日々フォームを確認するように、自身のタイピングの様子を動画で確認することは技術の向上に大変有効です。スマートフォンやデジタルカメラを使えば、手軽に動画を撮影して客観的な検証ができます。

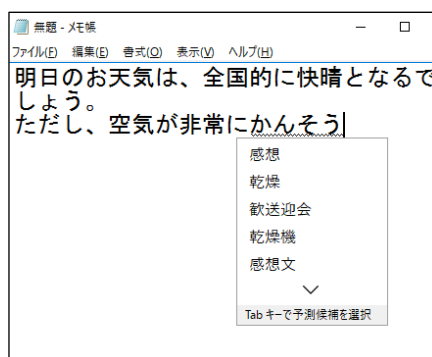
入力している手元や姿勢、変換過程の見える画面などを撮影し、「正しい指づかいでタイピングができていないか」「動きに無理はないか」「姿勢は適切か」「効率よく変換できているか」などをチェックし、改善を重ねましょう。



タイピングの手元



タイピングの姿勢



入力変換過程